

第30回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和2年12月4日（金）午後1時30分～
- 開催場所 遠軽町役場3階大会議室
- 記者数 6人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

■令和2年第8回遠軽町議会（定例会）に提出する案件から

・新型コロナウイルス感染症対策事業について

（1）遠軽町新生児特別定額給付金給付事業について

1点目は、遠軽町新生児特別定額給付金給付事業についてであります。

国の特別定額給付金給付事業の対象とならない新生児の父又は母に対して、経済的な支援を実施するため、新生児特別定額給付金を給付します。

対象者は、令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生し、遠軽町の住民基本台帳に記録された新生児の父又は母で、新生児が出生した日において、本町の住民基本台帳に記録され、本町に居住している方としております。

給付額は、新生児1人につき10万円で、対象となる方には、令和3年1月5日（火）から申請できるよう、案内の準備を進めているところでございます。

（2）遠軽町新しい生活様式促進事業について

2点目は、遠軽町新しい生活様式促進事業についてであります。

新型コロナウイルス感染症の拡大を予防し、新しい生活様式の定着を図るため、テイクアウトや感染症対策に取り組む飲食事業者に対して、助成金を交付しています。

テイクアウトに係る助成金は、店舗内での飲食の提供を行っていた飲食事業者等が、テイクアウトを新たに開始又は拡充したことによる経費の一部を助成するもので、令和2年4月25日から令和3年1月31日までの期間に要した経費で、チラシ、ポスター等の印刷や広告掲載、はし、スプーン、容器等の食器類、手提げ袋等の購入費用などを対象に、10万円を上限に交付いたします。

また、感染症対策に取り組む助成金は、飲食をさせるための客室がある飲食店等が、店舗内の感染症予防を徹底するために必要な経費の一部を助成するもので、令和2年5月16日から令和3年1月31日までの期間に要した経費で、感染症予防のために要した店舗内の改修や、マスクや手袋、消毒剤、清掃用具等の購入、感染症予防を実施するために必要となった衛生設備等の購入費用について、5万円を上限に交付いたします。

申請期間は、令和3年2月26日（金）までとなっております、すでに、16件の申請があったところです。

（3）遠軽町特定中小企業継続支援金の支給について

3点目は、遠軽町特定中小企業継続支援金の支給についてであります。

本事業は、新型コロナウイルス感染症の流行により、経済的に大きな影響を受けている中小企業の事業継続を支援するため、町内の幅広い業種を対象に支援金を支給するものです。

支援金の支給対象外業種は、「農業」、「林業」、「公務」、「分類不能の産業」、並びに、「他に分類されないサービス業のうち、『政治・経済・文化団体』、『宗教』及び『外国公務』」です。この対象外業種以外の幅広い業種を支援することとしております。

支給対象となる事業規模・形態につきましては、中小企業基本法に規定する中小企業者としており、中小企業者である会社または個人を対象に支給することとしております。

他の支給要件としては、「令和2年1月1日以前から営業実態のある事業者であること。」「遠軽町に本店を有する会社または町内に事業所を有する個人であること。」などの要件を定めているところです。

支給額は一律10万円とし、複数の対象業種を営む事業者または複数の事業所を営む事業者の場合であっても1事業者として1回のみでの支給としております。

申請受付期間は、令和2年12月21日から令和3年3月2日までを予定しております。

(4) 遠軽町宿泊施設利用促進ギフト券の発行について

4点目は、遠軽町宿泊施設利用促進ギフト券の発行についてであります。

本事業は、町内宿泊施設の利用を促進するとともに、町内消費の喚起を図るため、町内の宿泊施設に宿泊する者に対し、町内で使用可能なギフト券を配付するものです。

ギフト券1枚当たりの金額は2,000円で、配付枚数は3,000枚としております。

配付方法につきましては、有料宿泊者1人1泊につきギフト券を1枚配付することとし、多くの方に利用いただけるようにするため、1度の宿泊につき1人最大2枚までの配付としております。

配付期間は、令和3年1月18日から2月28日までを予定しており、有効期間は、宿泊者のチェックインの日からチェックアウトの日までとしております。

使用可能場所につきましては、今後、町内の店舗を幅広く対象として募集することとしております。

また、本事業は、感染症のまん延状況により延期または中止する可能性があることを前提に実施することとしており、遠軽商工会議所への補助事業として実施することを予定しております。

(5) 遠軽町成人式について

5点目は、遠軽町成人式についてであります。

令和3年遠軽町成人式につきましては、令和3年1月10日（日）午後2時から遠軽町福祉センターで開催いたします。

今回は、新型コロナウイルス感染対策として、入場時の健康チェック及び手指消毒の実施、会場は、席の間隔をあけ、換気の実施などを行い短時間で開催するとともに、例年行っています「記念演奏会」並びに式典終了後に関係団体の協力を得まして開催しています「成人を祝う会」につきましては、見送ることといたしました。さらに、来賓の方へのご案内は行わず、保護者の方につきましても会場への入場は、介護等の特別な場合を除き、ご遠慮いただくこととしております。

このため、参加できない新成人や保護者の方に見ていただくため、オンラインの動画配信で式典の様子を配信しますとともに、当日見られない方もいらっしゃると思われまので、後日、町のホームページから閲覧できるようにしたいと考えております。

次に、令和4年4月1日から民法の定める成年年齢が、18歳に引き下げられることに伴いまして、遠軽町では、現在まで実施してきた成人式について、令和4年度以降もこれまでどおり当該年度中に20歳に達する人を対象とした式典を実施することとしました。

なお、式典の名称や内容につきましては、今後、検討していきたいと考えております。

2 新型コロナウイルス感染症対策事業に関する一部報道について

本年5月の定例記者会見にてお知らせしました、本町の新型コロナウイルス感染症対策事業の一つでありますロックバレースキー場ブルーライトアップ事業についてですが、

(※11月2日に開催された財務省の財政制度等審議会財政制度分科会において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事業の国の示した活用例以外のユニークな取組例の一つとして報告される。)

コロナ対策と関係ないことが疑われる支出があるとして、本町に複数の報道機関からの取材やテレビ出演の依頼などがあり、本事業について疑問視する報道がされております。

11月25日には、TBSテレビの朝の情報番組「グッとラック！」にも取り上げられ、町として事業実施に至った経過や趣旨について丁寧に説明し、対応をしているところですが、ここに改めて医療従事者などの方々の反応も含めてご説明をさせていただきます。

本年2月に北見市で北海道内初の新型コロナウイルス感染症に係るクラスターが発生し、遠軽厚生病院は、オホーツク管内の基幹病院である北見日赤病院に過度な負荷をかけないために積極的に患者を受け入れるなど対応してきました。これは北見日赤病院がコロナ対応で他の患者の治療ができなくなるとオホーツク全体が医療崩壊を起し、脳疾患などの患者の命を救えなくなるからです。

遠軽厚生病院では4月中旬から入院患者及び職員が新型コロナウイルスに感染し、その後、外来、入院、救急外来等の機能の一部停止、健診センター稼働停止などの診療機能の一部制限や院内保育所の閉園により出勤できない職員が出るなどの状態が続きました。

5月中旬頃から院内感染が収まりはじめ、新患受付の再開、救急車の受入れなどが再開されるようになり、徐々に診療機能の制限が解除されるようになりました。

この間、病院では、自主隔離のためホテルに宿泊する職員、自身が感染する恐怖を抱えながら働いていた職員、院内のコンビニが休業したことにより食事に困る職員、コロナが発生した病院に勤務していることで、他病院に受診することを拒否された職員、家族が勤務する会社を出勤停止になるなど、多くの職員が精神的に追い込まれたり、誹謗中傷を受けることもありました。

また、町内の障がい者支援施設においても感染症の患者が4月下旬以降から確認され、北海道から医師及び専門職員の派遣を受け、施設職員とともに感染防止の対応を徹底していただきました。

最終的に遠軽厚生病院関連では17人、障がい者支援施設では11人の患者が確認され、7月2日をもって施設関連のクラスターは全て終息しましたが、昼夜を問わず、最前線でコロナウイルスと闘っている遠軽厚生病院職員及び障がい者支援施設職員をはじめ、医療・福祉関係者に対し、敬意と感謝を込めて厚生病院をはじめ、中心市街地から見る事ができるロックバレースキー場にてブルーライトのライトアップ事業を企画し、議会の議決を経て5月12日から6月30日までの期間で実施したところです。

ブルーライトは精神安定作用があるとされ、健康維持のシンボルカラーとしてイギリスで使われていたことに由来し、ロンドンで医療従事者への感謝の気持ちを表現してライトアップを始めたことが発端となり世界中で広がっています。さらに町内の民間宿泊施設等の事業所においても同時期にブルーライトのライトアップを敬意と感謝を込めて実施されております。

医療関係者等の反応についてですが、遠軽厚生病院からは「病院からも見え、本当に勇気づけられる」と、北海道新聞の取材や同病院のホームページに掲載するなど、医療・福祉従事者から感謝の気持ちが寄せられており、わたくしにも直接感謝の言葉を数多くいただいているところです。

このことから、ロックバレースキー場ブルーライトアップ事業に関して、コロナ対策と関係ないことが疑われる支出として、疑問視する報道がされることは不本意であり、残念でありますことから、今回改めてご説明をさせていただきます。

町といたしましては、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない状況の中、今この時も最前線でコロナウイルスと闘っている医療・福祉従事者及び全ての関係者に対し、敬意と感謝を込めて、今後もできる限りの支援をしてまいりたいと考えております。

3 観光イベントについて

本年度における「湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会」の中止についてであります。

令和3年2月28日（日）に開催を予定しておりました「第36回湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会」ですが、11月2日開催の実行委員会臨時総会において、中止と決定されました。

新型コロナウイルス感染症の状況が拡大傾向にあることから、選手及び家族の皆様、大会スタッフなどの安全・安心を最優先に考え、誠に残念ではありますが、本年度の開催を中止することとしたものです。

今回の中止は参加者募集前の中止であることから、次回大会は、今回と同じ「第36回」の名称で募集・開催することとし、令和4年2月27日（日）に開催する予定としております。

なお、今回中止となったことについては、前回の大会参加申込者に対し文書でお知らせするとともに、次回大会への参加意欲をもっていただけるよう、本日から、大会ホームページ上において、私と湧別町長からのビデオメッセージ動画を放映することとしております。

また、遠軽町大通南2丁目にある公園「ふれあいパーク」において、本日から毎日、午後6時から午後9時までの間、過去のクロスカントリースキー大会の動画を放映することとしております。

残念ながらクロスカントリースキー大会は2年連続の中止となってしまいましたが、こうした取組を通じ、来年度開催の成功につなげてまいります。

次に、今年度で10回目の開催となる「山彦の滝ナイトツアー」は、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、参加者及び関係者の感染防止の観点から判断し、中止といたします。

また、えんがる町観光協会が主催する「山彦の滝結氷初日予想クイズ」は例年どおり実施しますので、たくさんの応募をお待ちしております。